

音楽会成功のエネルギーを合唱発表会、そして「日うた祭典in神戸・ひょうご」へ 団長 加山 忠



音楽会「ねがい」の成功、ご来場いただいた皆さんありがとうございました。そして、第67回定期総会を終え、合唱団最大の課題、団員募集についての熱い討議の元、気持ち新たに現体制の元、全

団一丸となって邁進することを決めました。これから、とりあえずやるべきこととして、「日うた祭典in神戸・ひょうご」へ向けて、南部地域の合唱発表会、東京の合唱発表会、そして神戸と全団で参加することを目指して頑張ることを団員一同で確認しました。

今年は戦後80年被爆80年を迎えます。私たちは今、改めて平和について深く考える必要があります。被団協のノーベル平和賞受賞もあり、世界は核兵器廃絶に向けて動き出している一方で、残念ながら日本国内で



<発行>

南部合唱団

連絡先：〒214-0022

川崎市多摩区塚

1-22-1-416

TEL:044-833-6220

は、核保有を主張する声も聞こえ始めています。唯一の被爆国である私たちが、この現実をどう受け止め、未来に何を残すか、その答えを神戸の地から、皆さんと共に世界

に発信したいのです。神戸は、平和と共生の象徴です。阪神淡路大震災から力強く立ち上がったこの街は、人々の絆と希望を育んできました。被爆80周年を迎える今年、

「日うた祭典in神戸・ひょうご」を核兵器のない、そして、戦争のない世界を求める、より力強いメッセージを発信する場としていきたいと思ひます。

☆学習会 年金者組合東京都本部主催
「被爆・戦後80年の平和運動」トランプ政権と激動の世界」
学習テーマに相応しい3曲、
そして参加者へ敬意込もった学習

年金者組合東京都本部書記次長

野口 洋子

7月22日（火）14時～東京労働会館7階で平和学習を開催。主催は年金者組合東京都本部。少し早めに会場についてびっくり。オープニングの合唱をお願いした南部合唱団の発声練習の最中だったのです。合唱コンクールと勘違いするくらいの熱気。流石と思ひながら練習風景に見とれておりました。本番は予想通りの素晴らしい合唱。

のメンバーで歌って下さいました。学習講師は原水爆禁止日本協議会担当常任理事の川田忠明氏。私は、大学1年の時初めて原水爆大会に参加したのがきっかけで運動に関わるようになりました。講師は平和憲法と共に生きて来たはるか年上の私たちに、敬意を込めてお話ししてくださいている様子でした。被団協がノーベル平和賞を受賞。しかし核兵器禁止条約を批准せず、アメリカの「核の傘」への依存から抜け出せない日本



政府。折しも学習会の2日前の参議院選挙で、衆院に続き自公政権が過半数割れました。選挙前の世論調査では「いざという場合、米国は本気で日本を守ってくれる？」に「そうは思わない」が3%でした。終了時は南部合唱団のリードで「青い空は」を合唱。「核抑止」論に頼らない平和な社会を強く願った時間でした。

○7月22日○大塚・7月